

JIS

ふっ化水素酸用ほたる石分析方法 —第5部 ひ素含有量の定量

JIS K 1468-5 : 1999

平成11年4月20日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

今回の制定では、日本工業規格を国際規格に整合させるためにISO 9505 : 1992を基礎として用いた。

JIS K 1468-5には、次に示す附属書がある。

附属書1 (規定) 蛍光X線分析方法

附属書2 (参考) 方法の精度

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 11.4.20

官報公示：平成 11.4.20

原案作成協力者：日本無機薬品協会

審議部会：日本工業標準調査会 化学部会 (部会長 三田 達)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室 (☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ふっ化水素酸用ほたる石分析方法 K 1468-5 : 1999
—第5部 ひ素含有量の定量

Acid-grade fluorspar—Method for chemical analysis
—Part 5 : Determination of arsenic content

序文 この規格は、1992年に発行された、ISO 9505, All grades of fluorspar—Determination of arsenic content—Silver diethyldithiocarbamate spectrometric method を基礎として作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、ふっ化水素酸用ほたる石のひ素含有量をジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度法及び蛍光X線分析方法によって定量する方法について規定する。

なお、蛍光X線分析方法については、**附属書1 (規定)** に規定する。

この方法は、ひ素 (As) として0.0001 %以上を含有する製品に適用する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 9505 : 1992 All grades of fluorspar—Determination of arsenic content—Silver diethyldithiocarbamate spectrometric method

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格のうちで、発効年 (又は発行年) を付記してあるものは、記載の年の版だけが規格の規定を構成するものであって、その後の改正・追補は適用しない。発効年 (又は発行年) を付記していない引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

JIS K 0119 蛍光X線分析方法通則

JIS K 8005 容量分析用標準物質

JIS K 8012 亜鉛 (試薬)

JIS K 8136 塩化すず (II) 二水和物 (試薬)

JIS K 8180 塩酸 (試薬)

JIS K 8322 クロロホルム (試薬)

JIS K 8374 酢酸鉛 (II) 三水和物 (試薬)

JIS K 8529 臭素 (試薬)

JIS K 8541 硝酸 (試薬)

JIS K 8576 水酸化ナトリウム (試薬)

JIS K 8832 ブルシン n 水和物 (試薬)

JIS K 8913 よう化カリウム (試薬)

JIS K 8951 硫酸 (試薬)

JIS K 9512 N, N -ジエチルジチオカルバミド酸銀 (試薬)

JIS M 8100 粉塊混合物—サンプリング方法通則